



国民春闘共闘

第17号
2021年3月12日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

21 国民春闘賃上げ第1回集計

**単純平均 5,170 円、加重 4,909 円・1.69%
要求をあきらめず、ねばり強く、たたかおう！**

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は11日、前日の21国民春闘集中回答日を受け、第1回目の賃金改定集計を行いました。

<回答状況>

	2021年	2020年同期
回答引き出し組合	296	316
うち 有額回答	199	204
うち「定昇確保」など言葉による回答	97	112
うち 2次回答以上の回答	3	4
うち 妥結組合	23	13

<要求と回答内容>

		2021年要求	2021年回答	2020年同期	同期比
単純平均	額(円)	25,720	5,170	5,376	-206
	率(%)	6.91	1.88	1.97	-0.09
加重平均	額(円)		4,909	4,780	129
	率(%)		1.69	1.82	-0.13
	組合員数		28,782	31,002	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	21年回答	20年実績	実績比
単純平均	額(円)	175	91(52.0%)	5,093	5,451	-358
	率(%)	134	50(37.3%)	1.86	2.02	-0.16

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は平均などの計算から除いています。

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

3月11日の第1回集計には、別表の11単産・部会から報告が寄せられました。296組合が何らかの回答を引き出し、そのうち「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が97組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合数は199組合と去年同期から微減となっています。

要求と回答の特徴

要求額の単純平均は25,720円で、去年同期の24,388円を若干上回っています。大企業を中心に春闘の賃上げ要求の自粛をする組合が増える中でも、春闘アンケートなどを根拠に切実な要求となっています。

有額回答を引き出した199組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,170円・1.88%で、去年同期（2020年3月12日）から、-206円、-0.09%と微減となっています。また、加重平均（組合員一人あたりの平均）は4,909円・1.69%で、去年同期を額では129円上回る一方で、率で0.13%のマイナスとなっています。

去年の回答額・率の実績が判明している対比可能な、175組合の単純平均額5,093円は、前年実績（昨年最終回答）と比べ、358円下回っています。賃上げ率では134組合の単純平均で、1.86%と前年実績を0.16%下回っています。前年実績以上の金額回答を引き出した組合は、91組合（52.0%）となっています。

全体としては、コロナ禍を口実に経営側が厳しい賃金抑制をする中でも、各組合の奮闘により、ほぼ昨年水準の回答を引き出しています。

産業別では、新型コロナウイルス感染症の拡大による受診抑制や国による十分な支援がとどかない医療分野を中心に、多くの分野で去年同期を下回る結果となっています。

なお、賃上げの報告以外の、制度諸要求に関する獲得報告が各単産から寄せられており、この面では労働者の生活改善に向けた取り組みがすすんでいることがうかがわれます（制度諸要求の獲得状況は、後日集約結果を発表予定）。